

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ホテル国際21株式会社							
代表者名	氏名	加藤 章	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野市県町576							
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業						
	中分類	75 宿泊業						
主たる事業の概要	ホテル業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2260	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	22	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

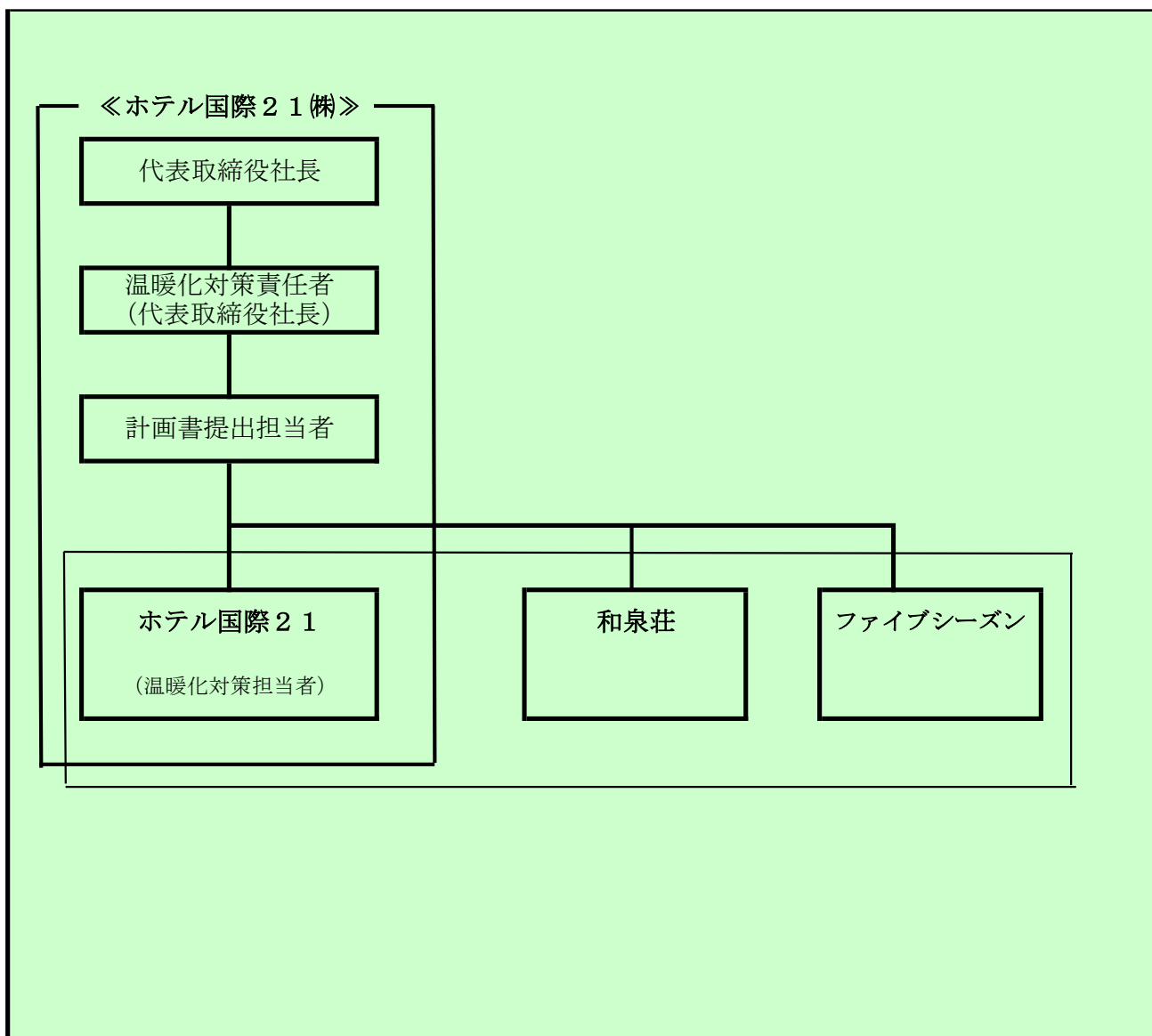
<input type="checkbox"/>	ホームページ							
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	閲覧場所	ホテル国際21館内					
		対応窓口	総務部施設管理課					
		閲覧時間	9:00～17:00					
<input type="checkbox"/>	その他							

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

【エネルギー管理基本方針】

- ・地球環境、資源の保護を推進し、環境保全活動の質の継続的な向上を図る
- ①環境関連の法令、規範を順守し、環境保全及び環境汚染の防止に取り組みます。
 - ②事業活動により生ずる環境への影響を自主監査し、環境保全、廃棄物の減量リサイクルの推進、資源・エネルギーの有効活用に努めます。
 - ③環境負荷低減に資する資材及び機器類を優先的に購入します。
 - ④定期的に環境監査を実施し、環境システムの維持と継続的改善をはかります。
 - ⑤全社員に対し、環境教育を実施します。
 - ⑥家庭や地域住民の一人として、環境保全や生物保護の観点から、環境を重視した行動をします。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,678	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
25年度	調整後排出量	3,857	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	4,540	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	2.94	%	目標削減率	2.90	%		2.9
目標設定に関する説明	<p>短期計画において、大規模な設備改修の計画もないことから、運用改善により年1%の排出量削減目標を設定。 削減策としては、 照明・・・部分的にLED電球への更新 空調・・・外気冷房の積極導入、間欠運転の実施、適正な温度設定管理 空調機、ポンプにおけるインバーター導入による変风量・変流量制御</p>						<p>※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。</p>	
第一年度	排出量	4,570	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	4,548	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	2.30	%	削減率		%		-5.1
排出量等の増減理由	<p>中間期において熱源設備の停止時間を延長 外気による空調にて対応 熱源設備におけるガス消費および動力電力の削減に取り組んだ</p>							
第二年度	排出量	4,473	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	4,456	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	4.38	%	削減率		%		0.6
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期における暖房熱源の運転時間の短縮 ・中間期における熱源の台数制御 ・深夜時間帯における外調機の停止(排気ファンは連続運転) ・パブリック系統空調機における間欠運転の実施および停止時間の延長 ・トイレ、ロビー等のツイン蛍光灯ダウンライトをLED器具に徐々に交換 							
第三年度	排出量	4,588	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	4,565	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	1.92	%	削減率		%		-8.3
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>目標削減率2.94%に対し実績削減率1.92% 夏期高温、冬期低温傾向であり冷暖房負荷の増加。 空調機の停止、間欠運転が困難であり、運転時間の増加につながった。</p>							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	30	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	120702 蒸気バルブ等の断熱強化	27	21.8	未実施	
2	エネ起	150201 高効率ランプへの更新	27	10.1	28	0.3
3	エネ起	120502 冷却水ポンプの回転数制御	28	15.4	未実施	
4	エネ起	130106 厨房排気ファンの可変風量制御	28	15.8	未実施	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	821		22	17	23
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,996	1	3,868	1	3,751	1	3,846
1,500k1未満	2	682	2	702	2	722	2	742
合計	3	4,678	3	4,570	3	4,473	3	4,588

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	19	15	20	22
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	実績なし
その他	実績なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	業務上必要な場合を除き、原則ノーマイカー通勤としている。 マイカー通勤率約10%
公共交通機関の利用促進	原則として公共交通機関利用での通勤としている。
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 客室バスルームのシャワーに節水タイプを導入 6月～9月クールビズ実施（顧客への協力呼びかけ） ロビー空調機の間欠運転実施
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 中間期において熱源を極力停止し、外気による空調を実施 客室等改修工事において照明にはLED照明を導入
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力の大きい空調機・外調機の間欠運転、深夜停止等を実施し削減 蛍光灯ダウンライトのLED化に着手
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 第二年度に実施の空調機停止の時間を拡大 蛍光灯ダウンライトのLED化の拡大 冷温水循環ポンプの運転台数の減量

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	平成22年度 BEMS導入	156
その他	特に無し	